

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 48 号  
2 0 1 4 年 4 月 2 2 日

東海旅客鉄道株式会社  
新幹線鉄道事業本部関西支社  
支社長 河原崎 宏之 殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部  
執行委員長 小林 國博

大阪修繕車両所における「Z27編成の速度計取替作業」に関する申し入れ

4月12日、東京車両所で同Z27編成16号車運転台速度計の取替作業が行われた。

続く4月15日には大阪修繕車両所においてZ27編成1号車運転台速度計の取替作業が行われた。

4月12日の作業は16号車運転台速度計の表示不良等が発生したため取り替えられたと聞いている。その数日後に1号車運転台速度計が取り替えられたことから、取り付けに際して施工不良等、何らかの重大な問題が発生したのは明らかである。

しかし大阪修繕車両所の現場では、会社から何ら具体的な事象（故障内容、取り替え理由）等について何ら明らかにされていない。

よって、以下のとおり申し入れるので、労使協議の場を設定すること。

#### 記

1. 4月12日のZ27編成16号車運転台速度計取り替え作業に至るまでの車両の運行履歴、修繕履歴等を明らかにすること。
2. 4月12日のZ27編成16号車運転台速度計取り替え作業の原因となった故障内容及び事実経過、実際の速度計の状態等を時系列で明らかにすること。
3. 4月15日に大阪修繕車両所でZ27編成1号車運転台速度計の取り替えを行っているが、取り替えの理由を明らかにすること。
4. 運転台の速度計等が非表示だったと聞き及ぶが、どの時点で発生したのか、また、運転台における現象等を全て明らかにすること。
5. 運転に必要とする重要な運転台パネルの表示・信号、計器、灯類等が非表示となった場合でも、本線上を営業運転しても安全上問題がないのか見解を明らかにすること。

6. 速度計は新幹線が走行する上で大変重要な機器だと考えるが、運転整備時及び走行中に速度計に異常が認められた場合は、どのような措置を行うように定められているのか明らかにすること。
7. Z27編成以外にも同様の事象が発生していないか明らかにすること。  
また、700系・N700A系でも同様の故障が起こりうるのか明らかにすること。
8. 今回の事象発生に鑑み今後どのような対策等を立てているのか。また、対策をどのように実施する計画なのか明らかにすること。

以上